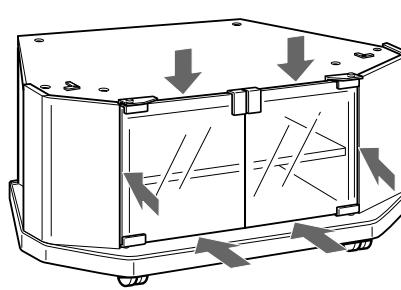
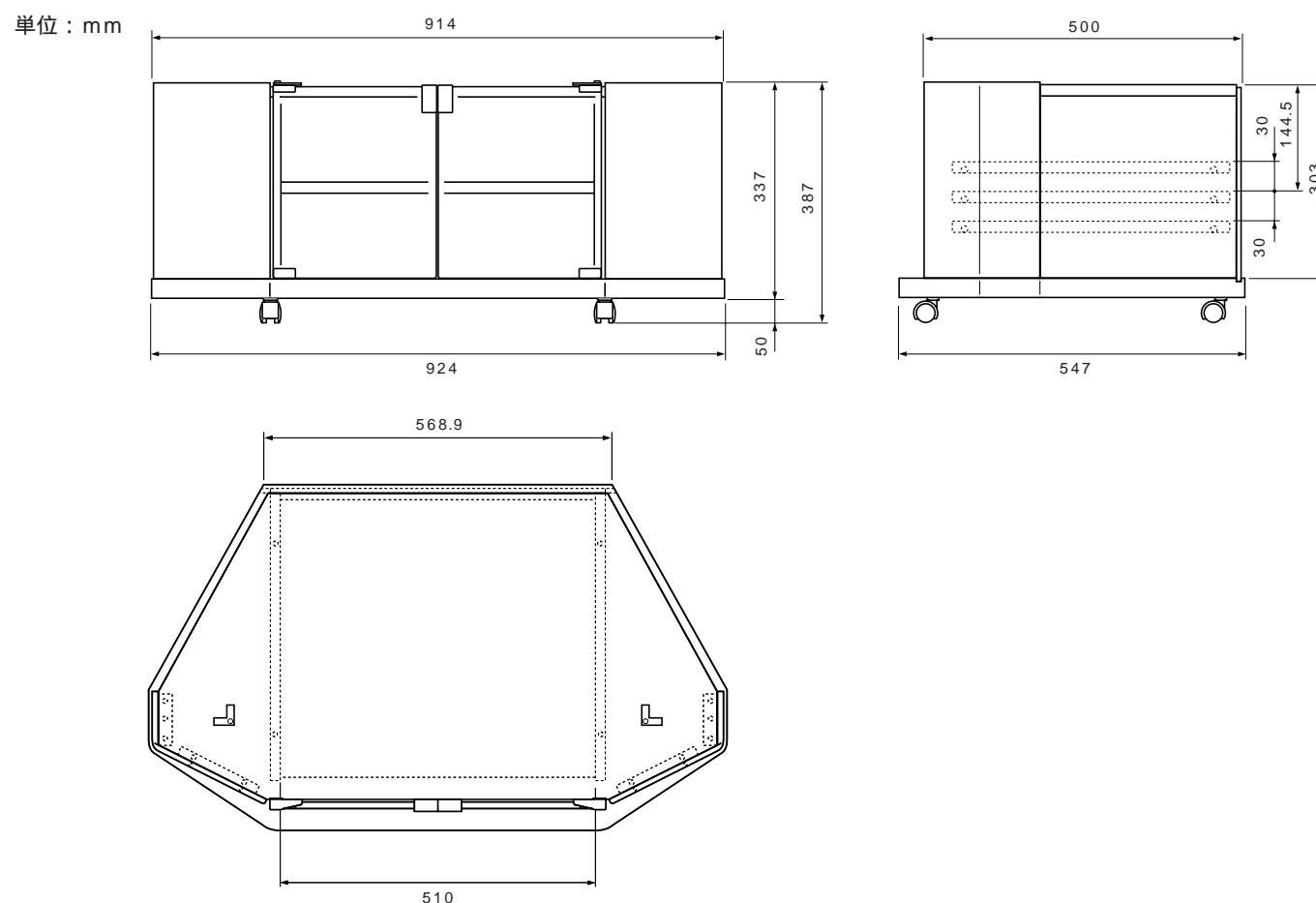


使用上のご注意

- 組み立てるときや、ガラス扉の開閉時に、扉の隙間(図の矢印の部分)に指などはさないよう注意してください。
- 設置場所について
設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 堅くて平坦な床面への設置
 - 畳の上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- テレビを載せたまま移動するときは、テレビの落下を防ぐためスタンド部分を押すか、スタンドごと持ち上げるようにして移動してください。
- 加熱した鍋、湯沸し等、熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを傷めることができますので、使わないでください。



主な仕様



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

SONY®

テレビスタンド

SU-50S2

取扱説明書

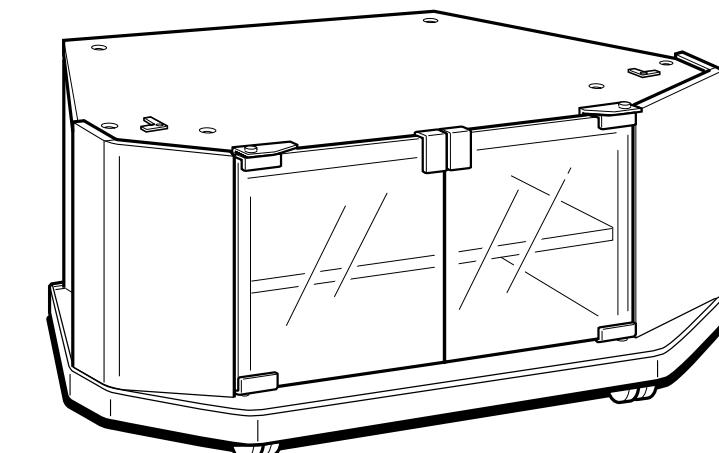
お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

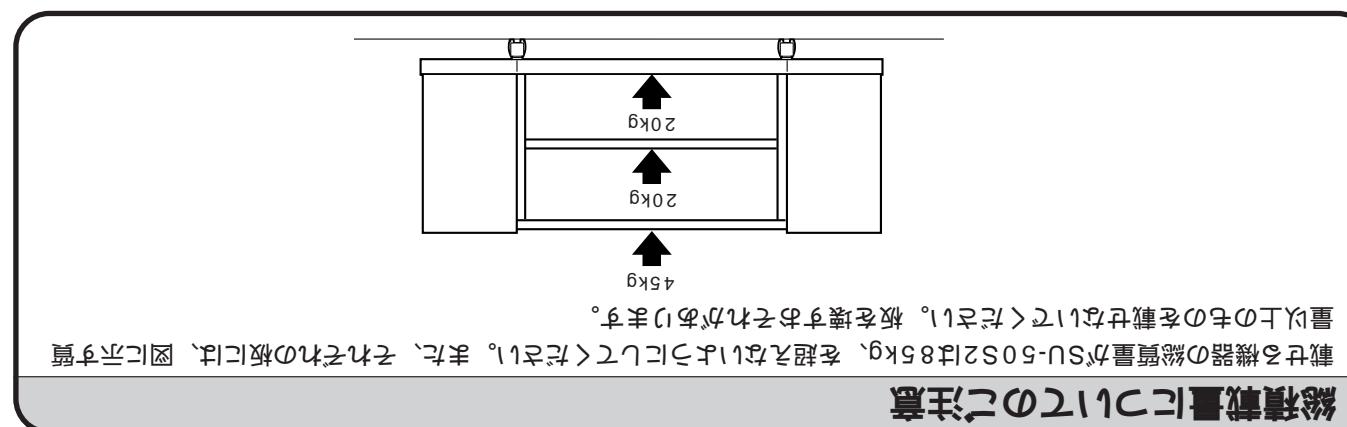
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

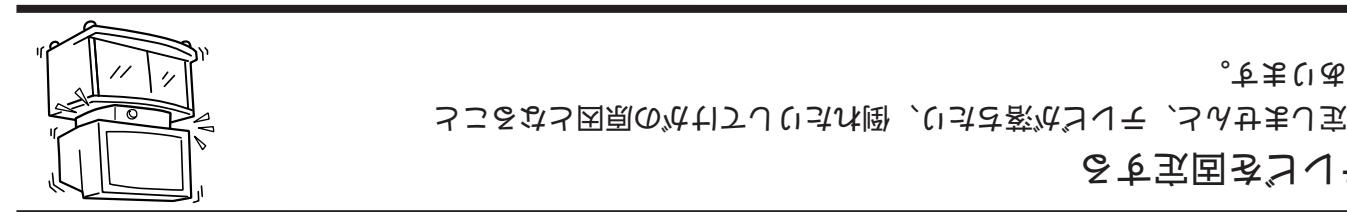
このテレビスタンドはソニーのLCDプロジェクションテレビKL-50HD専用のテレビスタンドです。棚板にはビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどを収納するように設計されています。2台以上のときは、高さが合計約28.8cm(棚板は含まず)まで収納することができます。



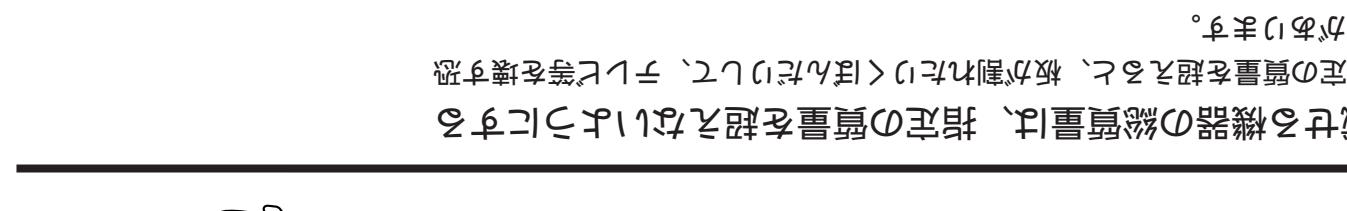
Sony Corporation © 1996 Printed in Japan



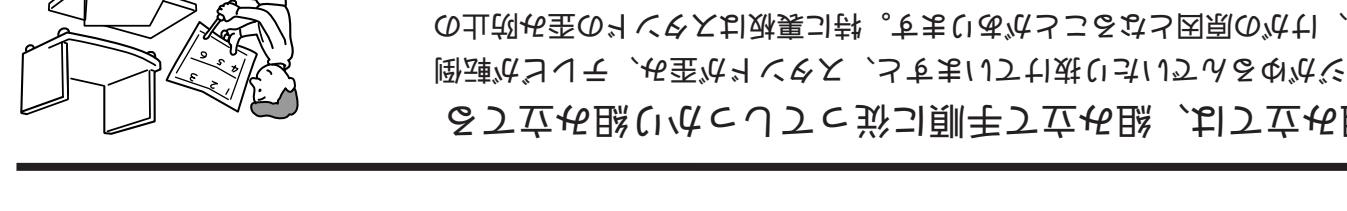
重量以上の物の重複はSU-50S2は28.5kg。複数台を1台で取り扱う場合は、必ず各機器の総重量を算出してください。



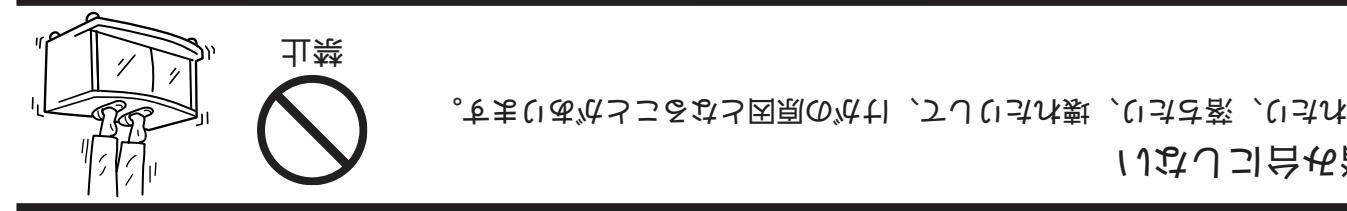
固定用ネジを用いて、テレビ本体の脚部、テレビ本体の脚部の固定用ネジを用いて、テレビ本体を固定します。



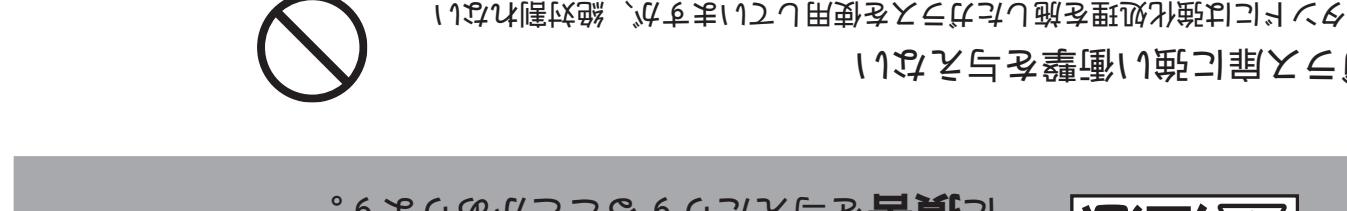
固定用ネジを用いて、テレビ本体の脚部、テレビ本体の脚部の固定用ネジを用いて、テレビ本体を固定します。



固定用ネジを用いて、テレビ本体の脚部、テレビ本体の脚部の固定用ネジを用いて、テレビ本体を固定します。



固定用ネジを用いて、テレビ本体の脚部、テレビ本体の脚部の固定用ネジを用いて、テレビ本体を固定します。



固定用ネジを用いて、テレビ本体の脚部、テレビ本体の脚部の固定用ネジを用いて、テレビ本体を固定します。

下記の注意事項を守ることで、安全にご使用いただけます。

△注意

電子機器の運送中の原因となることがあります。

・ 丈夫な荷物箱や段ボール箱、手袋などの保護材で、電子機器を運ぶ場合に必ずする。

・ 電子機器を運ぶ場合、必ず荷物箱や段ボール箱、手袋などの保護材で、電子機器を運ぶ場合に必ずする。

・ 電子機器を運ぶ場合、必ず荷物箱や段ボール箱、手袋などの保護材で、電子機器を運ぶ場合に必ずする。

電子機器の運送中の原因となることがあります。

・ 丈夫な荷物箱や段ボール箱、手袋などの保護材で、電子機器を運ぶ場合に必ずする。

・ 電子機器を運ぶ場合、必ず荷物箱や段ボール箱、手袋などの保護材で、電子機器を運ぶ場合に必ずする。

下記の注意事項を守ることで、安全にご使用いただけます。

● 機器・取扱い方法の大切さ



運送用荷物用の禁止記号



この表示の注意事項を守ることで、安全にご使用いただけます。

この表示の注意事項を守ることで、安全にご使用いただけます。

△注意

操作部人見重ねの原因となることがあります。

この表示の注意事項を守ることで、安全にご使用いただけます。

△注意

操作部人見重ねの原因となることがあります。

この表示の注意事項を守ることで、安全にご使用いただけます。

● 機器表示の意味

△注意

安全のための注意

部品表

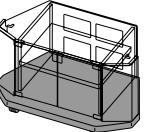
組み立て手順

矢印は前面方向を示します。

名称	数量
天板	1
底板	1
側板	2
前飾り板 (右用) (左用)	2
横飾り板 (右用) (左用)	2
棚板	1
裏板	1
ガラス扉	2
キャスター	4
ネジ(大)	12
ネジ(小)	5
棚ダボ	4
マグネットキャッチャー	2
スペーサーパッド	2
上部取り付けヒンジ (右扉用)	1
下部取り付けヒンジ (右扉用)	1
上部取り付けヒンジ (左扉用)	1
下部取り付けヒンジ (左扉用)	1

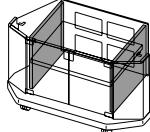
1 キャスターを取り付ける。

メカチックと音がするまで強く差し込む。

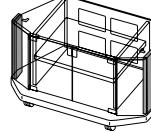


2 側板と横飾り板を取り付ける。

1 側板を底板にネジ止めする。
側板は左右共通です。棚ダボ用穴が内側になるように注意してください。

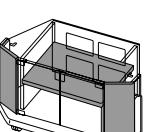


2 横飾り板を底板にネジ止めする。
横飾り板は右用と左用があります。
向き、および上下に注意してください。



3 前飾り板と棚板を取り付ける。

前飾り板は右用と左用があります。
向き、及び上下に注意してください。



4 天板を取り付ける。

ネジ(大)

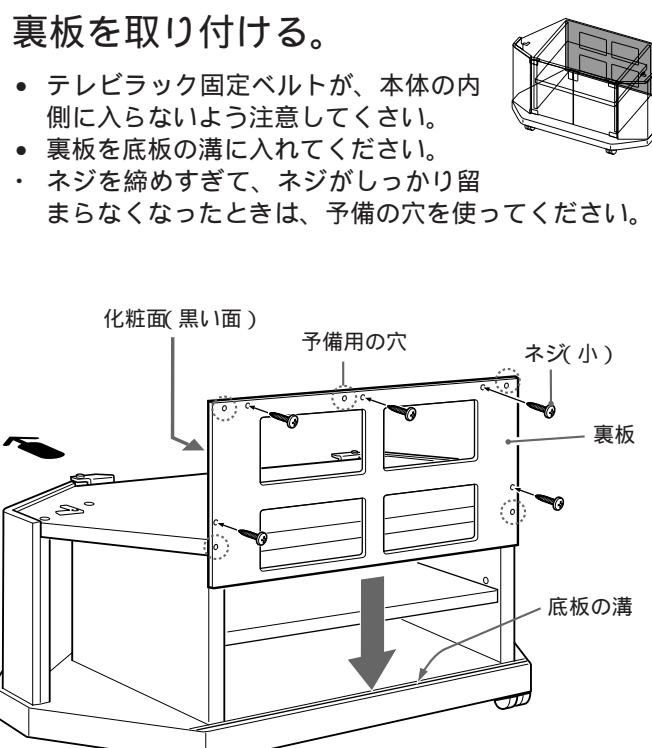
天板

ベルト



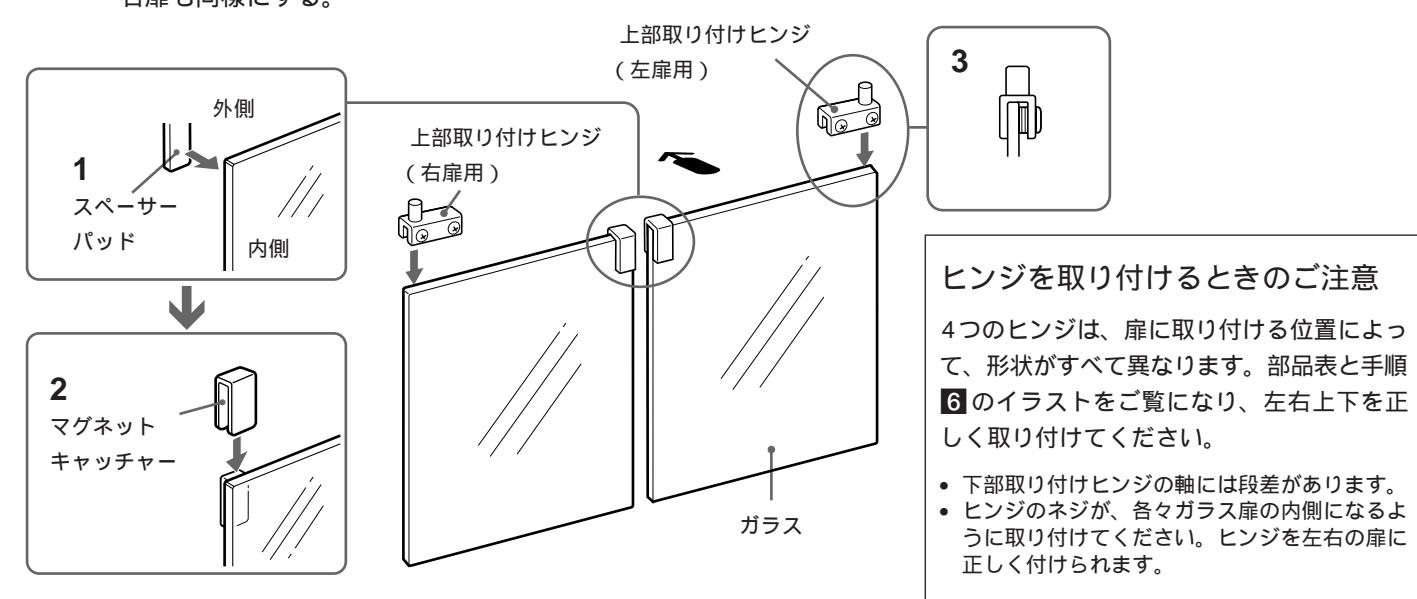
5 裏板を取り付ける。

- テレビラック固定ベルトが、本体の内側に入らないよう注意してください。
- 裏板を底板の溝に入れてください。
- ネジを締めすぎて、ネジがしっかり留まらなくなつたときは、予備の穴を使ってください。



6 ガラス扉を取り付ける。

- スペーサーパッドをガラス扉の外側に貼る。
- マグネットキャッチャーをスペーサーパッドがはがれないように注意してはめ込む。
- 左扉用の上部取り付けヒンジで左ガラス扉をはさみ込み、ネジを締める。
右扉も同様にする。



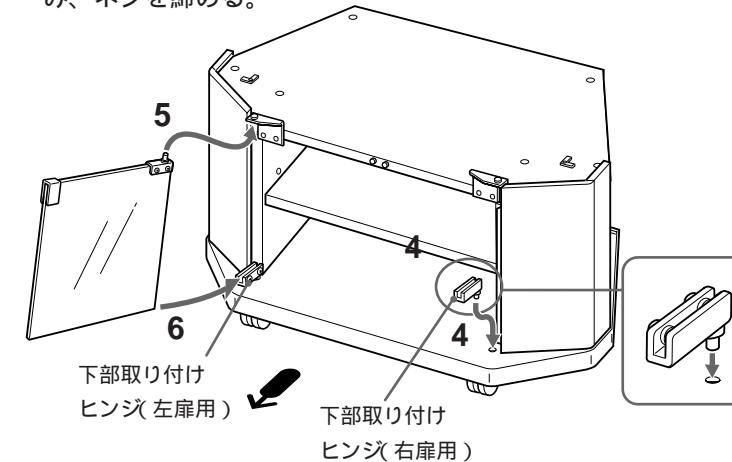
ヒンジを取り付けるときのご注意

- 4つのヒンジは、扉に取り付ける位置によって、形状がすべて異なります。部品表と手順⑥のイラストをご覧になり、左右上下を正しく取り付けてください。
- 下部取り付けヒンジの軸には段差があります。
 - ヒンジのネジが、各々ガラス扉の内側になるように取り付けてください。ヒンジを左右の扉に正しく付けられます。

- 下部取り付けヒンジを底板の穴に差し込む。
左扉用と右扉用を正しく差し込んでください。

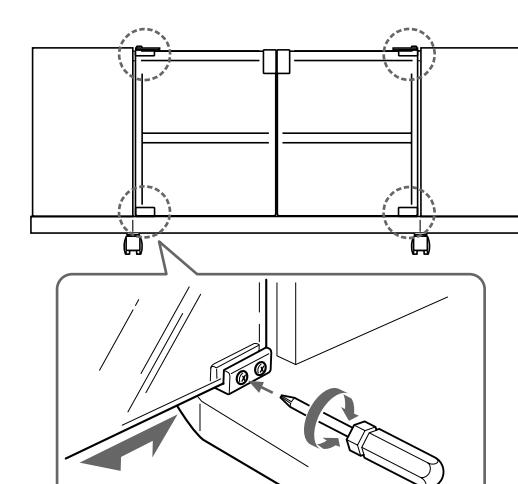
- 天板の金具の穴にガラス扉に取り付けた上部取り付けヒンジの軸を差し込む。

- そのまま上に押しつけながら、底板に差し込んだ下取り付けヒンジにガラス扉を差し込み、ネジを締める。

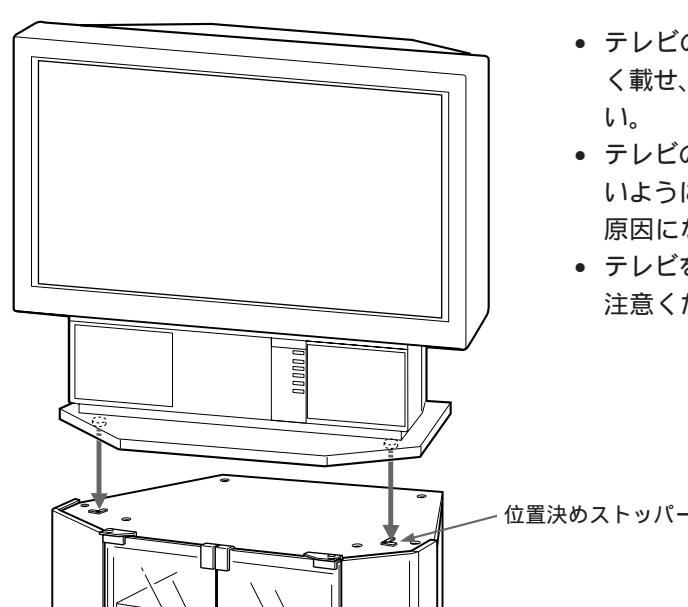


ガラス扉の位置を調整する。

テレビスタンドを組み立てた後、ガラス扉の位置が正しくない場合は、ヒンジのネジをゆるめて調整してください。



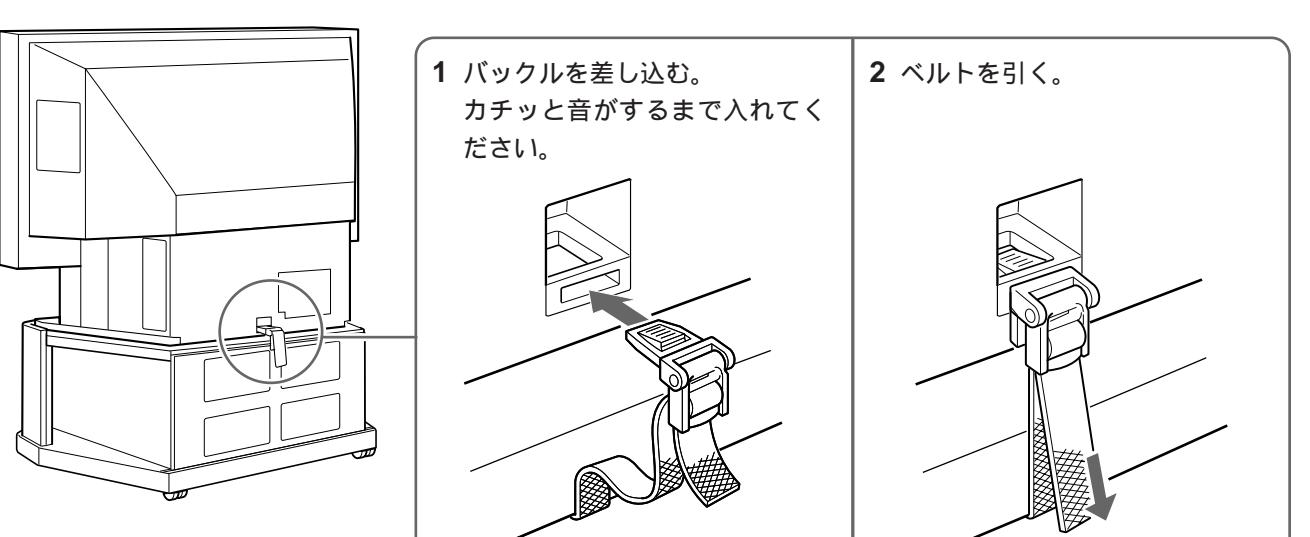
テレビの置きかた



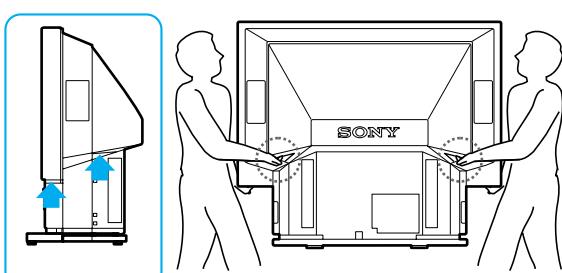
- テレビの足が位置決めストッパーのL字のかどに入るよう正しく載せ、ストッパーの上にのり上げていないか、確認してください。
- テレビの電源コードを、天板とテレビのテーブルの間にはさまないように注意してください。コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
- テレビを載せるときは、ガラス扉にテレビが当たらないようにご注意ください。

転倒防止について

このテレビスタンドには、テレビの転倒を防ぐために固定用ベルトが付いています。テレビを載せたら、必ず固定用ベルトのパッケルを差し込んでください。パッケルを差し込んだら抜けないかどうか確認してください。



- テレビを取り付けるときは、必ず2人以上で、運んでください。前面パネルは持たないでください。前面パネルがはずれるおそれがあります。
- 運ぶときは、図のように片手を側面の下側にある取っ手にかけ、もう一方の手で側面部を支えて運んでください。



ビデオなどを配線するときには

配線のため、裏板の部を抜くことができます。
ベニヤ板の場合は、切り込みの接続部をカッターなどで切り取ってください。

